

企画展

祈りのこころ

尾張徳川家の仏教美術

〈Thematic Exhibition〉 The Heart of Prayer: Buddhist Art in The Owari Tokugawa Family Collection



2020年
6月6日(土)
 ~7月12日(日)

開館時間/午前10時~午後5時
 (入館は午後4時半まで)

休館日/月曜日
 観覧料/一般 1,200円
 高大生 700円
 小中生 500円

※20名様以上の団体は一般200円、
 その他100円割引

※土曜日は小中高生入館無料

主催/徳川美術館
 名古屋市蓬左文庫

徳川美術館

THE TOKUGAWA ART MUSEUM
 TEL:(052)-935-6262
 FAX:(052)-935-6261

蓬左文庫

HÔSA LIBRARY
 TEL:(052)-935-2173
 FAX:(052)-935-2174

重要文化財 刺繍阿弥陀三尊来迎図
 鎌倉時代 14世紀 (展示期間: 6月6日~6月21日)

〒461-0023 名古屋市中区徳川町

徳川美術館には、尾張徳川家に伝来した仏教関連の品々が多数遺されています。尾張徳川家では二代光友(1625～1700)が菩提寺として浄土宗の建中寺を建立したのをはじめ、先祖代々帰依する浄土宗を重んじました。その一方で、多様な宗派の寺社を庇護したほか、当主個人や家族の信仰も様々でした。これを反映し、徳川美術館の仏教遺品は浄土宗にかかわる多数の品々とともに、幅広い信仰に基づく品が現在に伝えられています。

本展では、信仰の拠りどころや由緒ある宝物として大切にされた経典・仏像・仏画などをご紹介します。また故人の供養のために墓所へ納められた遺愛品や、寺院への奉納品により、尾張徳川家の人々が仏教に寄せた思いを紐解きます。



重要文化財 法華経普門品(部分) 平安時代 12世紀



善光寺式阿弥陀三尊像 室町時代 15-16世紀
(展示期間：6月23日～7月12日)



国宝 初音蒔絵櫛箱
江戸時代 寛永16年(1639)
千代姫(尾張家2代光友正室、靈仙院)所用
建中寺奉納品



阿弥陀三尊像(黒漆厨子入) 室町時代 16世紀



葵紋付黄金造飾太刀拵 昭和43年(1968)
徳川光友(尾張家2代、瑞龍院)所用 建中寺瑞龍院墓所発掘復元品

※展示作品すべて徳川美術館蔵。会期中一部展示替えがあります。

次回予告 7月18日(土)～9月13日(日)

特別展
漆 - 徳川美術館珠玉の名品 -



楼閣人物図螺鈿桃形食籠

企画展
怪々奇々 - 鬼・妖怪・化け物...



武大夫物語絵巻 三巻の内 下巻(部分)

徳川園催事

雨を聴く
徳川園の和傘と七夕
6月6日(土)～7月7日(火)



●基幹バス「徳川園新出来」下車徒歩3分
●JR中央線「大曽根駅」下車南口より徒歩10分

【ご来館に際してのお願い】

- ・必ずマスクをご持参・ご着用ください。・玄関にて手指の消毒をお願いしております。
- ・入室人数の調整のため、入館・入室をお待ちいただく場合があります。
- ・発熱や倦怠感、息苦しさ、味覚・嗅覚の異常などの症状がある場合には、ご来館をお控えください。
- ・発熱や咳等の症状の見られる方には入館をご遠慮いただく場合があります。